

5・26
都議補選

裏金・自民党と小池都知事に、目黒区民の厳しい審判！

「小池都政チェンジ！自民党政治を終わらせる」——重要な足がかりに

東京都議会議員補欠選挙の結果について

2024年5月27日 日本共産党目黒地区委員会



5月26日投開票でおこなわれた東京都議会議員補欠選挙（目黒区・定数2）で、日本共産党の宮本栄候補は、7,730票・14.1%の得票を得ましたが、当選には至らず、3年前の星見てい子前都議の雪辱を果たすことはできませんでした。昼夜を分かたずご奮闘いただいたみなさん、ご支持頂いたみなさんに、心からの感謝とお詫びを申し上げます。

立憲民主党の西崎つばさ氏と、無所属の青木英太氏が当選し、自民党のいざわ京子氏は落選しました。

氏名	党派	得票数	得票率
当 西崎つばさ	立憲民主党	19,526	35.6%
当 青木英太	無所属	13,538	24.7%
いざわ京子	自民党	11,039	20.2%
宮本栄	日本共産党	7,730	14.1%
須藤健太郎	無所属	2,947	5.4%
有権者数 230,861人		投票者数 55,840	投票率 24.19%



選挙戦で宮本候補は、「ストップ裏金政治」を掲げ自民党を厳しく批判するとともに、自民党と一体化した小池都政が、「都民に冷たい、財界ファーストの都政」になっていることを告発し、「都民のくらしに寄り添う都政に転換しよう」と訴えました。

目黒の政治状況について、自民党は、区議会でも5回連続議席を減らし、定数36のうち8議席にまで後退していること、都議の議席は2回連続ゼロで、7年間自民党の都議の議席を許していないことを示し、「自民党都議の

目黒のみなさんと力を合わせて政治を変えます

日本共産党

日本共産党は、この選挙で訴えた「都民の暮らしに寄り添う都政」のための重点公約、「国保料の一人3万円値下げ・子どもの保険料ゼロ」、「都営住宅の新規5千戸建設」と遅れている目黒区への優先整

備は、立憲民主党と日本共産党候補の得票合計は、当選した無所属候補と自民党候補の得票を上回っており、このことは、続く都知事選挙で小池都知事に替わる新しい都知事を誕生させ、都政をチェンジすること、総選挙で、自民党政治を終わらせ、まったく新しい政治をつくるための重要な足がかりとなるものです。

議席回復を許さず、政治を変えましょう」と訴えました。日本共産党の議席獲得はなりませんでしたが、2022年参院比例の得票率の1・6倍を獲得し、自民公認候補の落選に貢献、これを支援した小池都知事にも痛打を与える結果となりました。都民ファーストの会は4月の区長選でも敗れており、小池都知事は目黒で「2連敗」したことになります。



都知事選勝利！

キックオフ集会 (仮称)

6月11日 (火) 午後6時半頃予定

中野ゼロ大ホール

ごあいさつ 都知事予定候補



蓮舫 参議院議員

主催◇革新都政をつくる会

東京都知事選挙、総選挙で、ひきつづくご支援を、よろしくお願いします。

備、「羽田新飛行ルートの廃止」、「若者への月2万円の家賃助成」、「シルバーパスの全面無料化復活」、「高齢者医療費助成制度の開始」、「英語スピーキングテストの中止」、「神宮外苑再開発の中止」などの実現のために、ひきつづき区民のみなさんと力を合わせます。